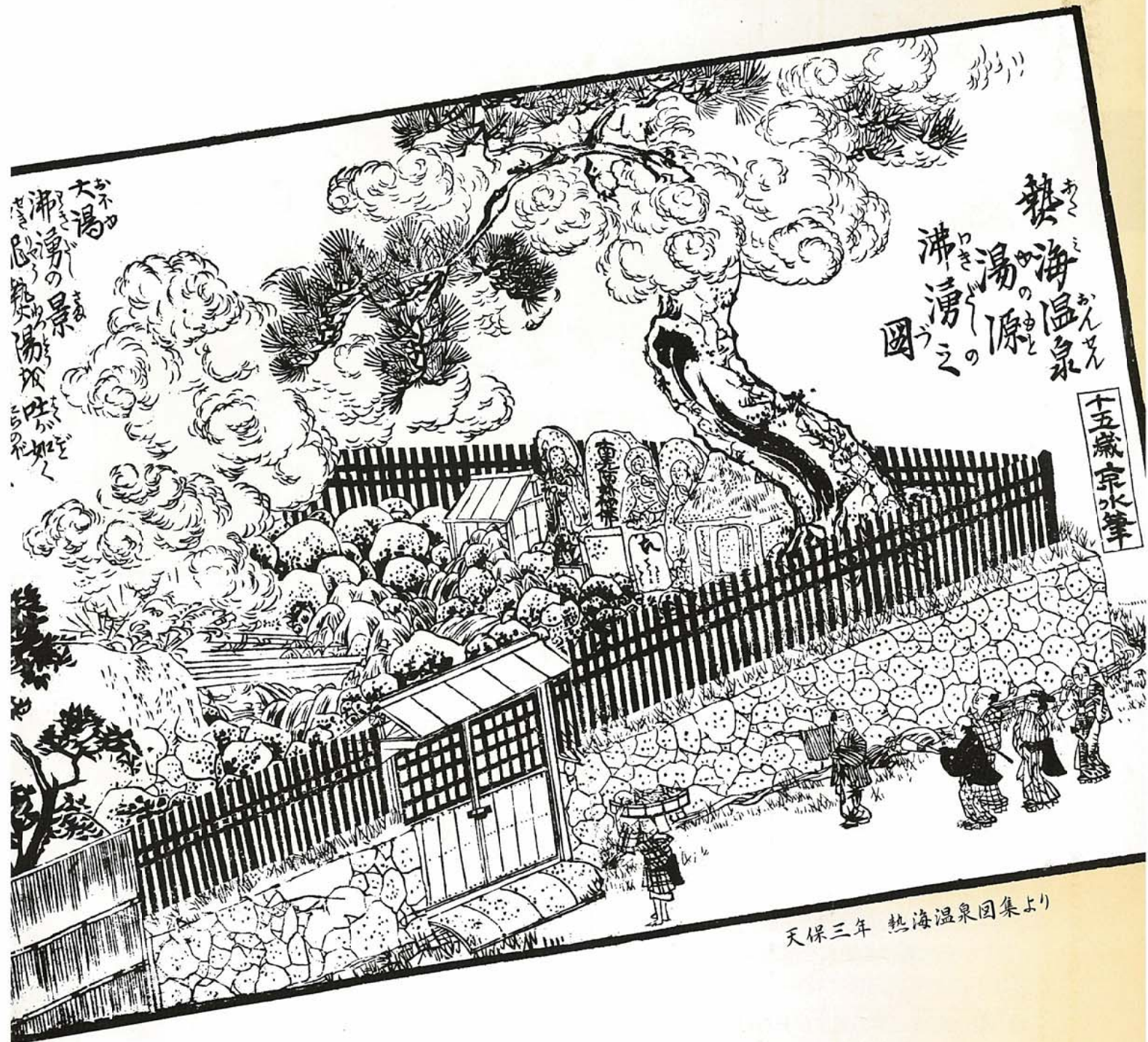


徳川家康 来熱400年

熱海の温泉

A HOT SPRINGS OF ATAMI



熱海温泉の源
沸湯の源
國之

十五歳京水筆

天保三年 熱海温泉図集より

熱海温泉の歴史

徳川家康のお気に入り温泉

熱海温泉の起源は文政13年(1830)に、山東庵京山の書いた「熱海温泉由来」に出ています。それには熱海の里人の古くからの言い伝えに、海中に湧く熱湯によって魚類が焼け死に甚大な被害を被っていた漁民たちを助けようと、箱根権現の万巻上人が天平宝字(757~765年)頃、祈願によって泉脈を海中から山里へ移したという話が記されています。

徳川時代、初代将軍家康(慶長2年と9年に御入湯)に気に入られた熱海の温泉は、以来「樽」に詰められて初めは陸路を、のちに船で江戸城に運ばれました。

最近掘削技術が進み、各地で温泉の湧出がみられておりますが、それ等の多くは何百年、何千年の年月によって出来た温泉タマリであることが多く、30年・50年と揚湯を続けた場合、枯渇してしまうのではないかと考えられますが、熱海の温泉は千年余の期間、安定した温泉を供給する泉脈をもっているという点で誠に貴重な温泉といえます。



熱海温泉の四大温泉

熱海温泉は、熱海市街地を中心に、泉・伊豆山・南熱海(多賀・網代)地区の総称です。

熱海温泉



国際観光温泉文化都市。
海の青、山の緑と豊富な温泉に恵まれた、近代的な温泉都市として、多くの観光客で賑わっています。

南熱海温泉 (多賀・網代地区)

江戸時代、港として栄えた網代を中心に、波静かで遠浅の海が続く海岸沿いの温泉郷です。

伊豆湯河原温泉(泉地区)

箱根外輪山から流れ出した藤木川(下流千歳川)沿いに発達し、山裾深く入った山峡にも、落ち着いた旅館が立ち並んでいます。



伊豆山温泉

古来より数々の名湯で知られる伊豆ですが、共に熱海にある「大湯」と伊豆山の「走り湯」が双璧とされています。昔は海岸の洞窟より、温泉が川の如く湧き走り出していたといわれています。



温泉とは

温泉とはどのようなものであるかについて、我が国では昭和23年に温泉法が制定され、その中で次の条件を満たすものであるということが規定されています。

- 1) 地中から湧出すること
- 2) 温水、鉱水及び水蒸気その他のガス状のもの(炭化水素を主成分とする天然ガスを除く)
- 3) 地中から湧出したときの温度が摂氏25度以上のもの、または右に掲げる物質を規定値以上含むこと

したがって

- (1) 摂氏25度以上の温度があれば無条件で温泉
- (2) 摂氏25度未満でも規定量の物質を含んでいれば温泉ということになります。

- ・溶存物質(ガス性のものを除く)
- ・遊離炭酸
- ・リチウムイオン
- ・ストロンチウムイオン
- ・バリウムイオン
- ・フェロまたはフェリイオン
- ・第一マンガンイオン
- ・水素イオン
- ・臭素イオン
- ・よう素イオン
- ・ふっ素イオン
- ・ヒドロヒ酸イオン
- ・メタ亜ヒ酸
- ・総硫黄
- ・メタほう酸
- ・メタけい酸
- ・重炭酸ソウダ
- ・ラドン
- ・ラジウム塩

熱海温泉と 熱海温泉組合

熱海温泉組合は、大正14年11月23日、静岡県知事より設立認可を受け、以後70有余年の事業実績と260余名の組合員を持って構成し、温泉資源の保護・育成に努めており、主要な事業は次の通りであります。

主な事業内容

- 1) 温泉保護並びに合理的利用の指導
- 2) 温泉に関する講演会並びに講習会の開催
- 3) 行政庁の行う調査研究並びに指導に関する協力
- 4) 温泉諸申請の行政庁への提出及び意見の上申
- 5) 行政庁及び関係団体への建議折衝連絡
- 6) 静岡県温泉協会の事業に対する協力
- 7) 温泉台帳の整備管理及び温泉に関する必要資料の作成保存
- 8) 組合の発展向上に必要な事業及び組合員並びに温泉関係者の表彰等
- 9) 温泉組合会報の発行及び温泉調査実態一覧表の作成
- 10) 湯前神社振興事業及び熱海温泉祭「湯汲み道中」その他実施

熱海温泉概要

面積	61.55km ²
人口	42,814人
宿泊施設	422軒
宿泊人員	2,999,162人

(平成14年度 熱海市統計書)

温泉の健康診断 トリチウム調査

現在利用されているほとんどの温泉は、雨や雪が地中に浸透して年月を経る中で熱や成分を得たものであることが解明されています。そこで、熱海市内の温泉水、河川水、湧水等に含まれる「トリチウム」の濃度を測定し、解析することにより、現在湧出している温泉が、いつ降った雨や雪であるか調査をしました(平成9年3月)。

その結果、20年～30年前の降水が、現在温泉として湧出していることがわかりました。このような事から、温泉資源の保護・育成のため、自然環境を保護し、地中への水の供給対策等十分配慮する必要があります。



大湯間歇泉と日本初の公衆電話BOX

温泉の作用と効果

科学的作用・効果

温泉に含まれている化学成分が入浴や飲泉によって体内に吸収されることで、身体に様々な薬理的效果を生みます。これらが総合的に働いて、健康のために良い結果をもたらします。

転地効果

温泉地へ移動することによって生活環境が変わり、ストレス解消と精神疲労に効果があつて、良好な気候条件が健康の回復に役立ちます。

物理的作用・効果

温熱作用……新陳代謝の促進や、自立神経の調整に効果があります。

水圧効果……圧力により、運動効果やマッサージ効果があります。

浮力効果……身体が自由になることでリラックスでき、リハビリなどに効果があります。

熱海温泉の 分析と効能

単純温泉の適応症

浴用…神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、
関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、
痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進
飲用…温泉により異なります

熱海温泉の統計

源泉総数	545箇所	
総湧出量	18,023ℓ/分	
平均温度	62.5℃	
	最高温度	最高湧出量
熱海地区	99.2℃	240.0ℓ/分
南熱海地区	92.1℃	408.1ℓ/分
泉地区	76.8℃	160.0ℓ/分
伊豆山地区	79.3℃	146.5ℓ/分

(平成15年2月調査)

塩類泉

塩化物泉の適応症

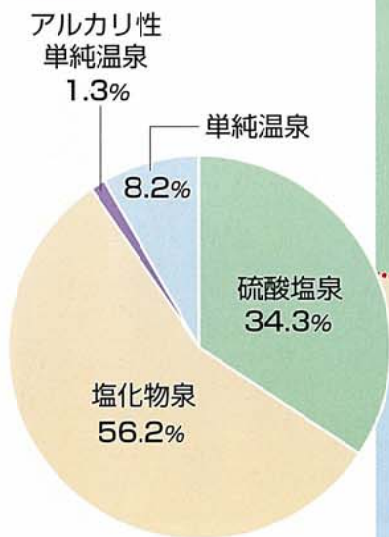
浴用…単純温泉の適応症に加えて、
きりきず、やけど、
慢性皮膚病、
虚弱児童、慢性婦人病
飲用…慢性消化器病、慢性便秘

塩類泉

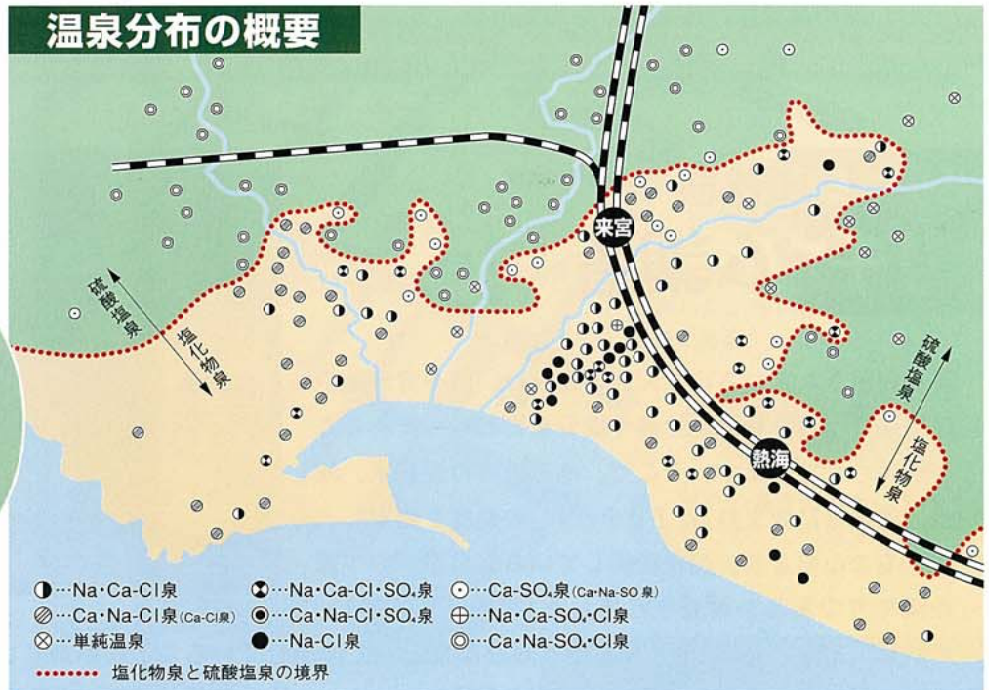
硫酸塩泉の適応症

浴用…単純温泉の適応症に加えて
動脈硬化症、きりきず、
やけど、慢性皮膚病
飲用…慢性胆嚢炎、胆石症、
慢性便秘、肥満症、
糖尿病、痛風

泉質別分析件数割合



温泉分布の概要



温泉入浴豆知識

入浴 宿についての直後と、 飲酒後の入浴は要注意

宿に着いて即入浴は?? 避けた方が良いですね。
ちょっと休んでお茶を一杯。そしてお風呂へ。
医学的に到着直後の入浴や飲酒直後の入浴は危険とされています。特に深酒後の入浴は絶対によみましょう。

入浴 入浴前には“かけ湯”を

熱いお湯に入る時はよく“かけ湯”をしましょう。
身体を温泉に慣らしてから入浴しましょう。
“かけ湯”を勧めるのはお客様の身体が汚れていると疑っているわけではありません。

入浴 温泉の成分は洗い流さないで!?

温泉の有効成分は入浴によって皮膚から浸透します。かぶれやすい人は別として、皮膚についた温泉を水やお湯(まゆ)で洗い流さないのが、身体により効果的な入り方です。

源泉総数

順位	温泉地	都道府県	源泉数
1	別府温泉郷	大分県	2,795
2	由布院	大分県	814
3	伊東	静岡県	657
4	熱海温泉郷	静岡県	531
5	指宿	鹿児島県	461
6	鳴子温泉郷	宮城県	380
7	箱根温泉郷	神奈川県	298
8	霧島温泉郷	鹿児島県	282
9	姫城	鹿児島県	175
10	鹿児島	鹿児島県	174

高温源泉数 (42℃以上)

順位	温泉地	都道府県	源泉数
1	別府温泉郷	大分県	2,129
2	由布院	大分県	757
3	指宿	鹿児島県	395
4	熱海温泉郷	静岡県	248
5	箱根温泉郷	神奈川県	219
6	鳴子温泉郷	宮城県	198
7	伊東	静岡県	178
8	姫城	鹿児島県	163
9	鹿児島	鹿児島県	147
10	大分	大分県	145

総湧出量

順位	温泉地	都道府県	湧出量(ℓ/分)
1	別府温泉郷	大分県	95,186
2	由布院	大分県	41,242
3	奥飛騨温泉郷	岐阜県	40,661
4	伊東	静岡県	31,095
5	箱根温泉郷	神奈川県	25,127
6	指宿	鹿児島県	24,480
7	草津	群馬県	23,313
8	山鹿	熊本県	20,031
9	熱海温泉郷	静岡県	17,646
10	那須温泉郷	栃木県	16,873

温泉利用の公衆浴場数

順位	温泉地	都道府県	浴場数
1	別府温泉郷	大分県	152
2	熱海温泉郷	静岡県	81
3	鹿児島	鹿児島県	72
4	上諏訪	長野県	70
5	箱根温泉郷	神奈川県	55
6	湯田中温泉郷	長野県	53
7	草津	群馬県	38
7	姫城	鹿児島県	38
9	塩原温泉郷	栃木県	37
10	那須温泉郷	栃木県	36

(社)日本温泉協会「温泉」誌 2002年7月号 参照

熱海温泉は 自慢できる温泉です

熱海温泉は無色透明で匂いも香りもありません。しかし身体がよく温まる事は、入浴後なかなか汗が引かない事で充分味わうことができます。目先の色や匂いに惑わされることなく、熱海温泉の泉質の良さを実感してください。

また、この恵まれた温泉を使った新しい湯遊びリゾート「マリンスパあたま」は、流れる温泉プールやウォーターライダー、健康温浴室など、緑豊かな公園の中に、湯遊びを満喫できる施設がそろっています。水着で遊べるので、家族やカップル、仲よしグループなど、男女を問わず、みんな一緒に“ワイワイ”とお楽しみください。

春・夏・秋・冬、楽しさいっぱいの湯快スポットで、緑と潮の香りを吸い込んで、身体のすみずみまでリフレッシュしてみたいはいかがですか。



マリンスパあたま



入浴回数 入浴時間は、徐々に長く

入浴時間は、入浴温度によって異なりますが、始めは3分~10分、慣れるに従って延長しましょう。なお、入浴回数は1泊だったら2回~3回位が適当です。

温泉の分析と効能

温泉を公共の浴用または、飲用に供する場合、環境省令の定めるところにより、都道府県知事に申請して、その許可を受けなければなりません。また、施設内の見やすい場所に温泉の成分、禁忌症及び、入浴または、飲用上の注意を掲示しなければなりません。

天然温泉 表示マーク



日本温泉協会は、温泉旅館等 温泉利用施設の温泉が「天然温泉」であることを表示するシンボルマークを制定しております。

熱海温泉が発見された当時は、市の中心部では、自噴した温泉が地上を一面に走って海に向かっていったといわれています。その後幾多の地震や津波の影響を受けて、いつのまにか特定の場所にのみ湧出するようになりました。この初期のものを「熱海七湯」といって源地は今も存在しています。

大湯

古来からの間歇泉で世界でも有名な自噴泉でありました。「大湯」の噴出は昼夜6回で、湯と蒸気を交互に激しい勢いで噴出し、地面が揺れるようであったといわれています。

小沢の湯

沢口弥左衛門、藤井文次郎、米倉三左衛門の庭の湯を「平左衛門の湯」と称していました。また、土地の人は小沢にあったので「小沢の湯」とも称しました。

野中の湯

この辺一帯は、泥の中に湯がブクブク噴いて、杖で突くと噴き出したといわれています。また、このあたりの土は丹（赤色の土）のようで、壁を塗る材料にしました。

佐治郎の湯

仲町（銀座）にあり、もとの「新かどの湯」がそれである。

河原湯

寛文6年、小田原城主稲葉美濃守が、村民のために浴室を設けてその屋根を瓦葺としたため、その名が生じたといわれています。

風呂の湯

昔の坂町高砂屋の庭から湧き出ていました。今の福島屋旅館の湯がそれである。

清左衛門の湯

昔、農民の清左衛門という者が馬を走らせて、この湯壺に落ちて焼け死んだので、その名が付いたといわれています。



湯前神社 yuzenjinja

歴史は古く、今からおおよそ千二百余年の昔。天平勝宝元年（七四九年）に創建されたといわれています。当時、熱海の海中に湧いていた熱湯を高僧万巻上人が山腹に移したので、その近くに祠をまつたのが始まりです。現在は、熱海温泉の守り神として少彦名命をおまつりしています。とくに、健康長寿・病氣平癒に靈験のあらたかであるといわれて、多くの方に親しまれ参拝者も後をたちません。

秋季例大祭（10月の第1土曜・日曜日）では「献湯祭湯汲道中パレード」等が盛大に催されます。

また、2月9日・10日に開催される春季例大祭では「献湯祭」等がおこなわれます。



湯汲み道中



秋季例大祭